

平成27年度～平成32年度 第8次段上地区福祉計画
西宮市社会福祉協議会 段上分区

1 福祉目標

あいさつ 声かけ 心豊かな町づくり

2 地域の現状や活動上での課題

- (1) 近所づきあいが、希薄化してきている。
- (2) 地域社会への無関心層が増え、困った時に近所で協力しあえる人がいない。
- (3) 高齢者の増加にともない、独居者の孤独死、認知症者の徘徊、老老介護などの問題が見受けられる。
- (4) 高齢者等のつどいの参加者が増え、会場が目一杯になってきている。
- (5) 福祉活動者やボランティアの高齢化が進んできている。
- (6) 社会福祉協議会の分区活動や募金活動が、地域住民に理解されていない。
- (7) マンションの増加などで、自治会に未加入の住民が多くなっている。
- (8) 樋ノ口小学校区が、甲東支所と瓦木支所管内にまたがっている。
- (9) 昼食会グループに、社会福祉協議会としての活動であることを理解してもらう必要がある。
- (10) 自治会に入っていない人は情報が少ないので、その案内をどうすればよいか。
- (11) 社会福祉協議会と自治会の関係性が保たれ、協力して頂けるよう努力していく必要がある。
- (12) 災害時の対応については、社会福祉協議会と自主防災会の連携が必要である。
- (13) 少子化・核家族が進んでいるため、子育ての悩みを解消する必要がある。
- (14) 国道171号以北の地域で、子育て支援活動が必要である。
- (15) 中津浜線より東側は、南北交通の便が悪いので、コミュニティバスなどの移動手段があればいい。

3 三つの活動項目

- (1) 小地域福祉活動の推進
あいさつ声かけ心豊かな町づくりを目指して、お互いに声かけあって支え合い、小地域単位の福祉活動を進めていきます。
- (2) 地域内ネットワークの推進
地域住民と一っしょに見守り活動の充実をはかり、ふれあいを深めていくため、世代間の交流活動や各種団体との連携活動を進めていきます。
- (3) 西宮市社会福祉協議会甲東・段上・段上西分区(3分区)への協力・参画
3分区内の住民福祉を推進して向上するため、引き続き、3分区合同事業に協力・参画していきます。

4 具体的事業

4-1 小地域福祉活動の充実

- ① 自治会単位で「ふれあい昼食会」の促進
- ② いきいきサロン「にこにこ喫茶」の推進
- ③ 「長寿を祝うつどい」の開催
- ④ 「年忘れの会」の開催
- ⑤ 子育て支援事業「にこにこ広場」の推進
- ⑥ 「介護者等のつどい」の開催

4-2 地域内ネットワークの推進

- ① 地域団体や民生委員など福祉関係者との「地域懇談会」の開催
- ② 自治会単位での「高齢者等のつどい」へ支援
- ③ 段上地区ネットワーク会議の推進
- ④ 段上地区県民交流広場推進委員会と連携
- ⑤ 募金活動と会員会費制度の推進
- ⑥ 樋ノ口小学校区の分区化の促進
- ⑦ 分区広報誌の発行を検討

4-3 西宮市社会福祉協議会甲東・段上・段上西分区(3分区)への協力・参画

- ① 甲東地区ボランティアセンターの運営
- ② 地区福祉委員会の運営
- ③ 「文化のつどい」の開催
- ④ 「ボランティアのつどい」の開催
- ⑤ 広報誌「和」の発行

5 策定の経過

第1回 平成26年7月22日

第8次段上地区福祉計画の内容や策定スケジュールを検討

第2回 平成26年8月26日

第7次甲東・段上・段上西地区福祉計画を点検

第3回 平成26年9月16日

第8次段上地区福祉計画に計上する現状や課題を選定

第4回 平成26年11月25日

第8次段上地区福祉計画の福祉目標、活動項目、具体的事業を選定

第5回 平成27年1月27日

第8次段上地区福祉計画の案案を作成

第6回 平成27年2月24日

第8次段上地区福祉計画を作成

6 策定委員

勝部幸子、兼松てる子、神柱富男、川東美千代、久保田泰子、幸田泉、佐藤克之、中尾多鶴子、中桐清子、中野博恵、福島文子、山田美恵子(以上、段上分区理事)

32
19
51